2026年3月期第3四半期
決算説明会

2026年2月13日

新コスモス電機株式会社
NEW COSMOS ELECTRIC CO.,LTD.

目次

新コスモス電機

01　事業内容

02　中期経営計画2025-2027概要と進捗

03　2026年3月期第3四半期決算概要

04　2026年3月期業績予想の修正

05　株主還元

06　トピックス

01　事業内容

新コスモス電機

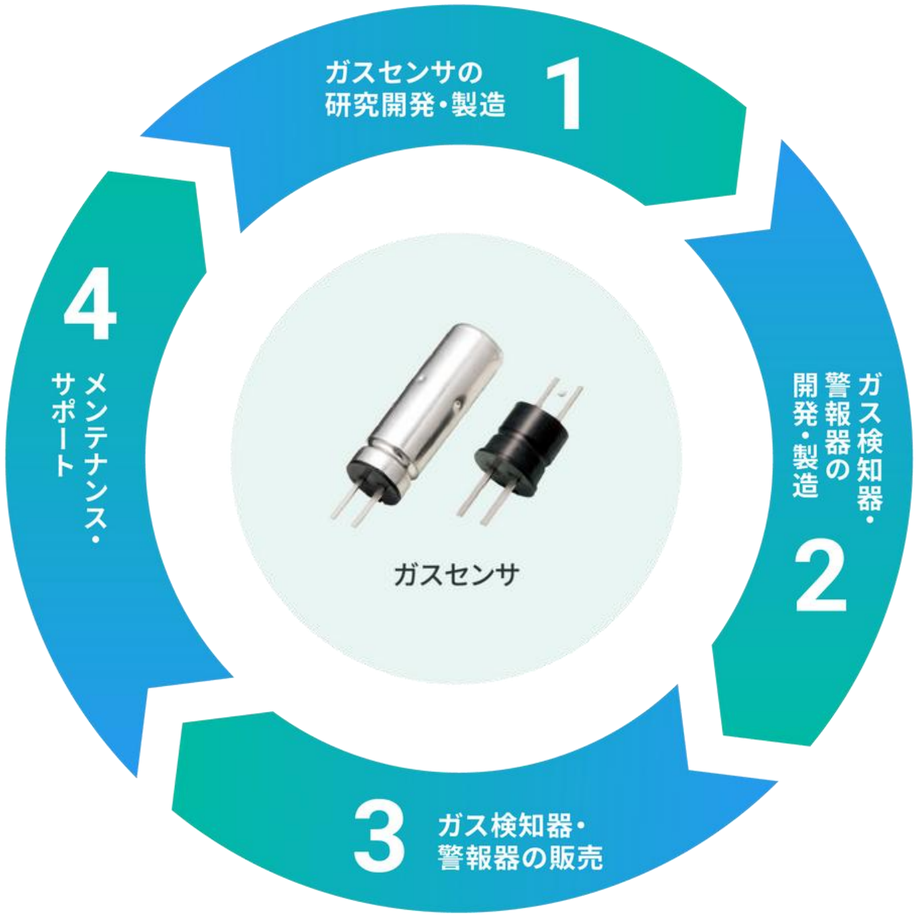
大目標：世界中のガス事故をなくす

ガスセンサの研究開発・製造から、それらを搭載した家庭用・産業用ガス警報器および火災警報器等の開発・製造・販売・メンテナンスを一貫して行っています。

携帯用ガス検知器

定置式ガス検知警報器

ニオイセンサ



家庭用ガス警報器

住宅用火災警報器

空気質検知

新コスモス電機

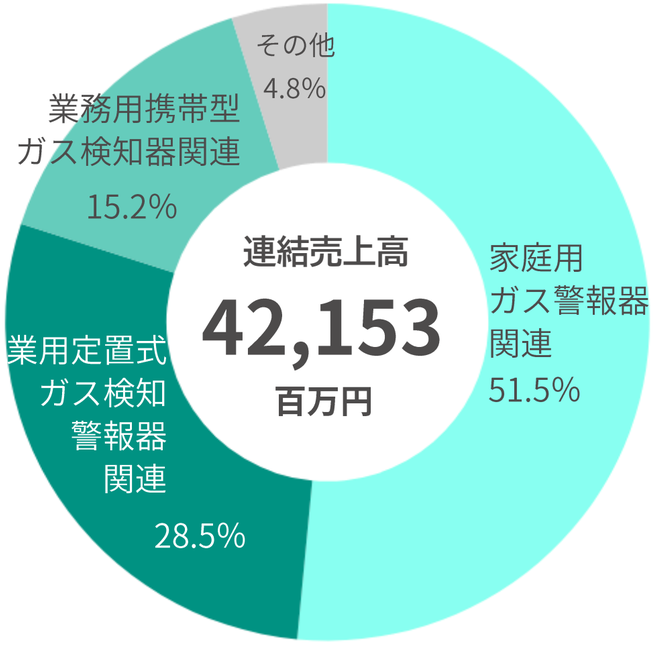
当社の強み

OUR STRENGTH 1

家庭用も産業用も手掛けるガス警報器メーカーは国内で当社のみ

産業用
ガス検知警報器

売上構成比率
（2025年3月期）



家庭用
ガス警報器

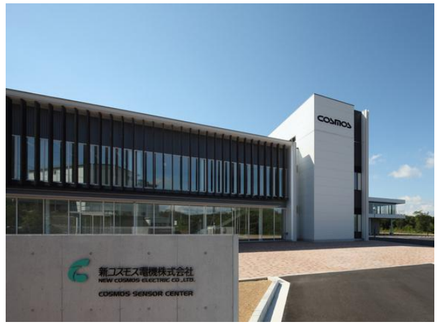
国内
シェア
NO1

新コスモス電機

当社の強み

OUR STRENGTH 2

グループ全体で世界トップレベルのガスセンサ生産能力



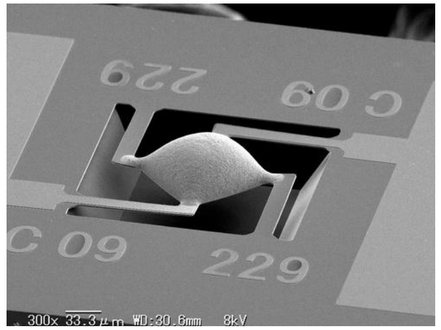
コスモスセンサセンター（兵庫県三木市）

淀川工場（大阪府大阪市）

OUR STRENGTH 3

独自のMEMS熱線型半導体式センサ

MEMS熱線型半導体式センサ



センサ素子は0.1mm四方で
体積1/500、消費電力1/600
(当社従来比)を実現

02　中期経営計画2025-2027概要と進捗

新コスモス電機

定性目標／計画の概要

定性目標　MEMSガスセンサ技術を軸にグローバルに展開し、
ガス事故ゼロとカーボンニュートラル社会の実現に貢献する

展開
（投資の収益化）

- 北米向け電池式メタン警報器の市場拡大
- 半導体市場における売上拡大
- MEMSガスセンサの量・質の充実

拡張
（将来に向けた新市場・新事業の基盤づくり）

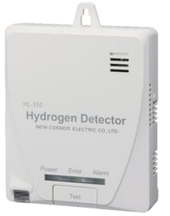
- 欧州を中心としたカーボンニュートラル（水素）市場の基盤づくり
- 電池式LPガス・水素警報器の開発・普及

北米向け
電池式メタン警報器

半導体市場向け
ガス検知器

MEMSガスセンサ

車載用水素ディテクタ



家庭用
電池式水素ガス警報器

新コスモス電機

計画の進捗（1/2）

展開（投資の収益化）

北米向け電池式メタン警報器の市場拡大

- **第2四半期まで:** NY市の設置義務化により非常に好調
- **第3四半期:** NY市の設置猶予期限延長に伴い、売上は一旦落ち着いた
- **今後の見通し:** NY市の猶予期限決定や他州の義務化動向に左右されるが、中長期的にはアメリカ全土へ設置義務化が広がり、需要は右肩上がりに伸びると予測

北米向け
電池式メタン警報器

半導体市場における売上拡大

- **当社の販売エリア:** 中国・台湾が中心
- **第3四半期実績:** 景気減速の影響を受け、第2Qに引き続き計画を下回る結果
- **今後の見通し:** 中国の景気動向に左右され、今期中は不況の影響が続く見込み

半導体市場向けガス検知器

新コスモス電機

計画の進捗（2/2）

拡張（将来に向けた新市場・新事業の基盤づくり）

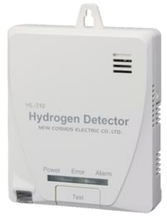
欧州を中心としたカーボンニュートラル（水素）市場の基盤づくり

- **展示会・WEB施策:** 水素関連展示会への出展とWEBキャンペーンを実施し、市場調査と認知拡大を推進
- **認証取得:** 各種商品の認証取得を進行中
- **製品の採用状況:** 車載用水素ディテクタはFCバスやトラックへの採用が進む
- **欧州市場:** 水素市場の動きは予想を下回るスピードだが、水素推進方針は維持

車載用水素ディテクタ

電池式LPガス・水素ガス警報器の開発・普及

- **家庭用電池式水素ガス警報器:**
  - 2025年5月に開発完了
  - スコットランドのSGN社グリーン水素プロジェクトに採用
- **家庭用電池式LPガス警報器:** 開発完了を目指して開発継続中



家庭用
電池式水素ガス警報器

03　2026年3月期第3四半期決算概要

新コスモス電機

損益計算書（P/L）

- 売上高は前年同期比24.6%増。営業利益は前年同期比27.4%増となり増収増益。
- 第3四半期会計期間は第2四半期会計期間と比べると売上高、営業利益ともにやや減少傾向。北米製品の販売勢いの落ち着きが要因。

（単位：百万円）

	2025年3月期				2026年3月期				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第3四半期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第3四半期 累計	第3四半期 前年同期比増減率
売上高	9,446	10,768	9,296	29,511	10,985	13,648	12,131	36,765	24.6%
営業利益 （%は営業利益率）	1,317 (13.9%)	2,052 (19.1%)	1,003 (10.8%)	4,374 (14.8%)	1,596 (14.5%)	2,421 (17.7%)	1,554 (12.8%)	5,572 (15.2%)	27.4%
経常利益	1,581	1,812	1,328	4,723	1,545	2,459	1,895	5,900	24.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	800	1,233	832	2,865	955	1,761	1,296	4,013	40.0%

新コスモス電機

商品別の概況

- 家庭用：北米向けの電池式メタン警報器および警報器用ガスセンサの販売が引き続き好調。
- 工業用：半導体業界向けガス警報器およびガスセンサの販売が低調。
- 携帯用：海外向けガス検知器、および国内向けアルコール検知器の販売が好調。

（単位：百万円）

	2025年3月期 第3四半期		2026年3月期 第3四半期		前年同期比増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
家庭用ガス警報器関連	15,139	51.3%	22,641	61.6%	49.6%
工業用定置式ガス検知警報器関連	8,297	28.1%	7,989	21.7%	△3.7%
業務用携帯型ガス検知器関連	4,559	15.5%	4,935	13.4%	8.2%
その他	1,514	5.1%	1,199	3.3%	△20.8%
合計	29,511	100.0%	36,765	100%	24.6%

新コスモス電機

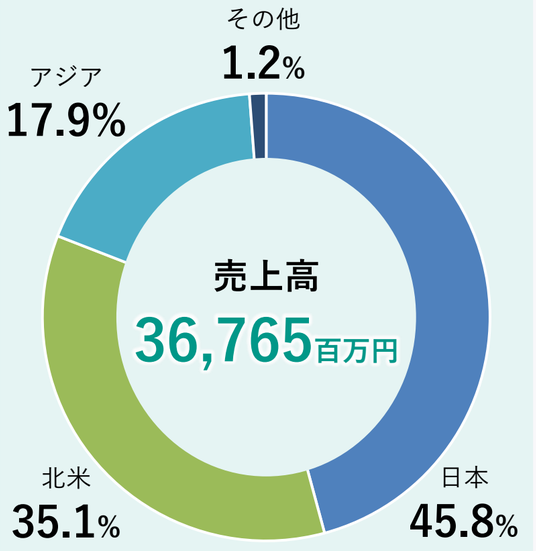
地域別の概況

北米の売上は引き続き好調に推移しているが、第3四半期会計期間では増収幅が縮小。
アジアは中国、台湾半導体業界が第2四半期以降状況が落ち着き、回復傾向。

（単位：百万円）

	2025年3月期				2026年3月期				前年同期比増減率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	累計	
日本	5,092	5,675	5,278	16,046	5,060	5,995	5,767	16,823	4.8%
北米	1,702	1,874	2,042	5,619	3,850	5,167	3,883	12,901	129.6%
アジア	2,535	3,070	1,833	7,439	1,921	2,332	2,333	6,587	△11.5%
その他	116	148	141	406	152	152	148	453	11.6%
合計	9,446	10,768	9,296	29,511	10,985	13,648	12,131	36,765	24.6%

2026年3月期第3四半期
地域別構成比



海外売上高比率：
54.2%

新コスモス電機

北米向け電池式メタン警報器の動向

設置義務化の動き

- NY市の猶予期限：2027年1月以降に延長（当初2025年5月）
- イリノイ州：法案審議は2026年2月以降に延期
- 現在7つの州で法令案が提出中（2026年1月現在）

販売ルート

- 集合住宅オーナー向け代理店、大手ホームセンター（Lowesなど）、インターネット販売
- エネルギー事業者（ConEdisonなど）へ販売・サンプル出荷

受注状況

- 代理店：第3Q以降落ち着いている
- ホームセンター・ネット販売： 一定の注文継続中
- エネルギー事業者：ConEdisonからは定期注文あり、他エネルギー事業者へは
  サンプル出荷等実施

生産体制

- ガスセンサ：国内生産
- メタン警報器：国内生産およびメキシコ委託工場にて生産
- 現在の供給体制に問題なし

新コスモス電機

半導体市場の動向

販売エリア

- 中国・台湾中心のアジア圏と日本国内が売上の大半を占める
- 中国・台湾での景気低迷の影響を受け、今期は売上低調
- 欧米では情報収集・営業活動を強化中、伸びしろがあると見ている

当社の強み

- 現在主流のユニット式のガスセンサ（現場交換可能）を
  業界に先駆けて開発
- 熱分解コンバーター体化センサユニット（既存サイズ）を開発
  発売時期：NF3（2019年）、COS（2025年10月）

新コスモス電機

キャッシュフロー

- 現金及び現金同等物は、投資活動及び財務活動において減少も営業活動において増加。
- 営業活動によるキャッシュフローから投資活動によるキャッシュフローを差し引いたフリーキャッシュフローは51億4,800万円。
- 前連結会計年度末と比較すると現金及び現金同等物は28億6,900万円増加し、215億8,200万円（前期末比15.3％増）。

（単位：百万円）

	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比 増減率
営業活動によるCF	3,422	6,944	102.9%
投資活動によるCF	△4,357	△1,796	△58.8%
財務活動によるCF	△1,429	△2,139	49.7%
現金及び現金同等物の増減額	△2,300	2,869	—

	2025年3月期	2026年3月期 第3四半期	前期末比 増減率
現金及び現金同等物の 四半期末（期末）残高	18,713	21,582	15.3%

新コスモス電機

財政の状況（B/S）

総資産は前期末より54億8,300万円増加（前期末比8.1%増）で、727億7,100万円。負債は前期末比19億600万円増加（前期末比11.9%増）で、179億3,300万円。純資産は前期末比35億7,700万円の増加（前期末比7.0%増）で、548億3,700万円。結果、自己資本比率は前期末比0.8ポイント減の70.0%。

（単位：百万円）

資産の部	2025年3月期	2026年3月期 第3四半期
流動資産	42,910	47,543
有形固定資産	11,962	11,619
無形固定資産	1,478	1,399
投資その他の資産	10,936	12,208
固定資産合計	24,377	25,227
資産合計	67,288	72,771
負債・純資産の部	2025年3月期	2026年3月期第3四半期
流動負債	9,099	11,197
固定負債	6,927	6,735
負債合計	16,027	17,933
株主資本	43,355	46,039
その他の包括利益累計額	4,298	4,899
非支配株主持分	3,607	3,898
純資産合計	51,260	54,837
負債純資産合計	67,288	72,771

04　2026年3月期業績予想の修正

修正内容（2025年4月1日～2026年3月31日）

- 売上高：アジア向け販売が低調なものの北米向けの電池式メタン警報器及びガスセンサの販売好調
  ➡前回発表予想水準の見込み
- 利益：収益性の高い北米向けの販売が好調かつDX化の推進などの業務効率化に努めたことで新工場（淀川工場）本格稼働に伴う経費増の影響を吸収
  ➡営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益いずれも前回発表予想を上回る見通し

（単位：百万円）

	修正前	修正後
売上高	48,000 (13.9%)	49,000 (16.2%)
営業利益	5,600 (8.6%)	7,030 (36.4%)
経常利益	5,720 (4.9%)	7,480 (37.2%)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,450 (2.2%)	4,700 (39.2%)
1株当たり当期純利益	278円94銭	383円40銭

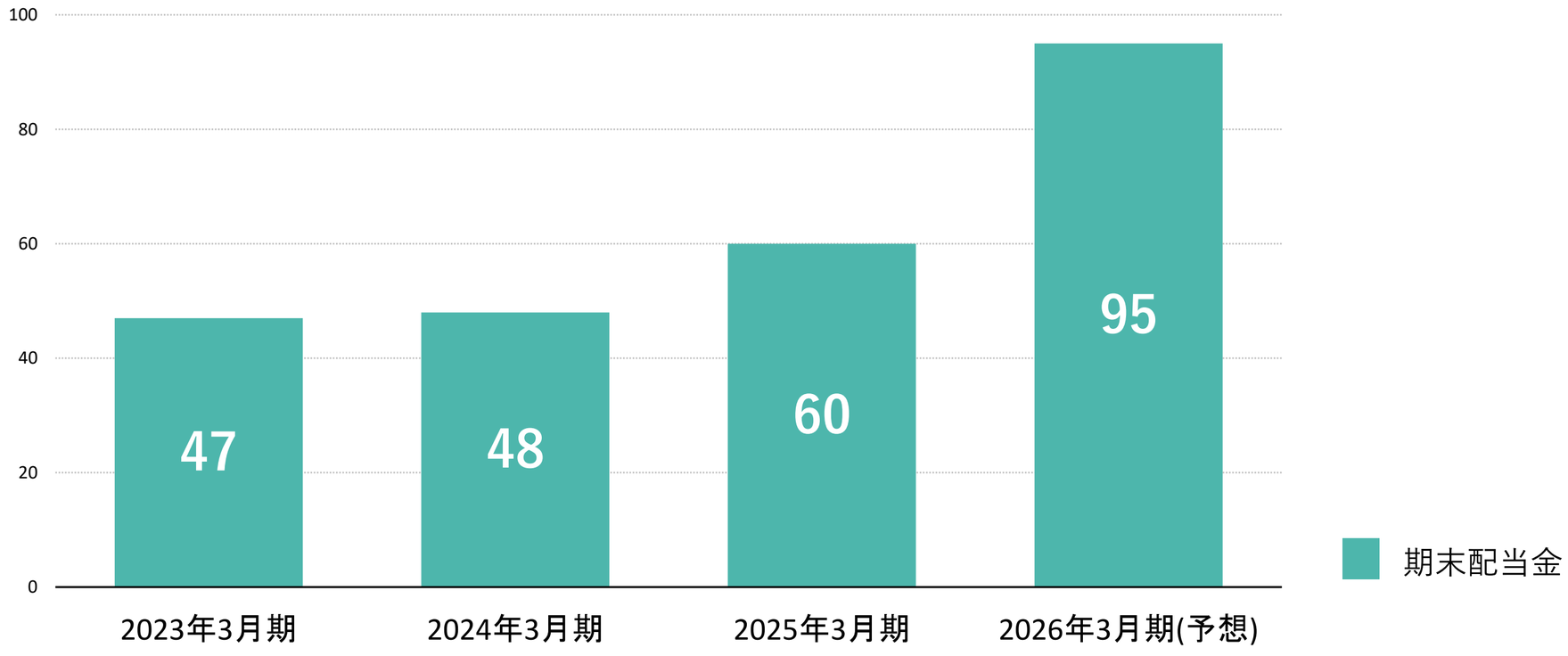
※（）内の％は前期増減率

05　株主還元

新コスモス電機

配当金の推移

2026年3月期については業績予想の修正を踏まえ、当初の配当予想70円より25円増配し、95円を予想しています。



配当性向	15.5%	20.20%	22.0%	24.8%

06　トピックス

新コスモス電機

地域住民参加の津波避難訓練を初開催しました

大阪府に大規模な地震が発生し津波警報が発報されたと想定した訓練で、淀川区役所職員や町内会長、福祉施設関係者、地域住民など58名と当社従業員122名、合計180名が参加しました。

新コスモス電機

当社の水素ガス検知器が都心の地域熱供給プラントに採用

赤坂熱供給株式会社様が運営する地域熱供給プラントに、当社のガス検知部「PD-14」とガス検知警報器「UV-810」が採用されました。

ガス検知部「PD-14」

ガス検知警報器「UV-810」

ガスセンサ技術で、

世界中のガス事故をなくす

新コスモス電機株式会社